

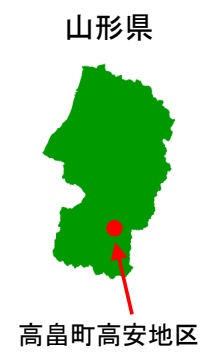
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稲を中心に果樹の栽培も盛んな中間農業地域。
- 農家の高齢化と後継者不足が進み、新規就農者や農業後継者等若手の担い手の育成・確保が課題。

【支援内容・背景】

- 新規就農者、農業後継者等若手の担い手による経営規模の拡大、経営コストの縮減等の取組に対応して、こうした経営改善の取組を支援する必要。
- 助成対象者は非農家出身の新規就農者であり、特別栽培米等の水稲と醸造用のぶどうの生産に取り組む。近年は高齢化で規模縮小や離農する地域の農家の農地も引き受けながら水稲の経営面積を拡大。
このため、地区における若手の担い手の経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「伊澤良郎」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成26年 新規就農
- 平成27年 青年等就農計画認定
- 令和3年 農業経営改善計画認定

《事業活用の背景》

○ 限られた農業労働力で水稲の経営面積の拡大を図るためには、作業の効率化、省力化が必要。水稲の経営面積の拡大に向け、調製作業の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高 9百万円

○経営面積 11.2ha

（水稲、ぶどう）

《事業による整備内容》

○粃摺機 1台

○フレコン自動計量機 1台

事業費 2,255千円
（国費 676千円）

【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○売上高 12百万円 **(128%)**

○経営面積 16.4ha **(146%)**

（水稲、ぶどう）

事業の
効果

《対象者》 水稲の調製作業の効率化、省力化が可能となり、水稲の経営面積の拡大、売上の増加が実現。

《地区》 水稲の効率的な生産体制の強化が図られることにより、若手の担い手ながら安定した経営が可能な水稲経営モデルとして地域農業を牽引。